

お礼の言葉と関西支部一同より感謝状の贈呈など盛会の内に無事総会を終えました。その後の懇親会は深夜に及びましたが、それでも思いを語り尽くせませんでした。貴重なひと時を過ごすことが出来ました。

8月にはビアーパーティー、12月は忘年会と恒例の行事を会員皆様方の参加、ご支援のもと無事におえることができましたことを幹事一同喜んでおります。

今後の母校大濠高等学校の益々の発展と関西支部の会員各位の更なる支援と協力をお願い致します。

(第17回卒 西村政彦)



## 筑紫支部



会員の皆様方も日夜頑張られておられる事と思います。慌ただしかった20世紀が過ぎ去った今日、いまだにバブル崩壊の影響

を受け、日本経済に赤信号がともったままの状態が続いています。

我々仲間のお互いの皆様方も試練に耐えられている事だろうと思います。

こういうときこそ大濠人としての精神力でがんばってもらいたいものです。

さて筑紫支部では平成12年12月15日、その年最後の理事会を太宰府市の山賊鍋で聞き、今後の方針について話し合いました。

そこで平成13年度の総会を、4月に開催することにしました。詳しい内容は後日お知らせします。会員の皆様の多数の参加をお願い致します。

2年前に筑紫支部理事会で大連外国語学院(日本語学校)を訪問したときに大変お世話になった藤先生を招いて「現代の中国」についての講演会を予定しておりましたが、日程がとれず今回は見送りとなってしまいました。そこで私が1992年からビジネスの相手先の中国について、見た事、経験体験をもとに30分ぐらいのトークを予定しておりますので、是非参加される様お願い致します。

## ういご会



大濠つつじ会総会開催

平成十二年九月九日(土)午後六時三十分より、大濠つつじ会の第十一回総会が、久留米グリーンホテルにおいて開催されました。

役員改選の年になっておりましたので、式次第において、活動・決算報告・監査報

告等の後に、役員選出が行なわれました。選考の結果、前年に引続き、竹岡宗磨氏(第九回卒)が全員一致で、支部長に再選されました。

青木校長先生、安藤同窓会々長の祝辞を受けた後、乾杯を行い懇親会となりました。

旧職員の浅田先生をはじめ、学校や同窓会本部からも沢山の参加がありました。

例年のように、ジャンケンにより、おみやげを選ぶ、「ジャンケンゲーム」で会場は盛り上がりました。大濠つつじ会支部は、毎年九月に久留米グリーンホテルにおいて総会を行なっています。久留米市周辺にお住いの方は、お誘いあわせの上、多数ご参加下さい。

(大濠つつじ会幹事長 豊福光明 第11回卒)

## つつじ会のみなさん

### 第11回 大濠つつじ会総会



## 福大医学部支部



「教育」と「EDUCATION」と「同窓会」

「107名」、この数は、母校出身の我支部の人数です。福岡大学の中では大濠会は風前の灯になってしまっています。大学全体の支部も自然消滅してしまつたと聞きます。マア大学生になって何時までもハイスクールボーイ気分も無からうとは思いません。これも又、大濠卒の気性なのでしょう。我々の支部は、全員が同じ職業に付きまので、将来に亘って永く関係を持たざるを得ない宿命が有ります。23年間に、OBから国立大学医学部教授も出ましたし、卒業総代も出ましたし、開業医、勤務医、研究者全ての分野にOBが居るといふ状況にヤツト成りました。福岡市中心に広く開業医が増えていけばどこかで、他の大濠OBの病気の相談、治療を担当する事になると思います。大変手前味噌になりますが、OBの一人として客観的に見て大濠OBのドクターは、ナカ々臨床能力が確かな良い医師が育っていると思います。ところで、今母校は、成熟期に入りつつあると思えますが、大濠高等学校と書きます。ですから「高等教育」の一翼を担う教育機関としての学校と位置付けられていると思えます。高等教育目的として大濠の中の一つとして、色々な分野で「核リリーダ」になる人材をいかに輩出して行くか?という命題があると思えます。そして、「核になる人材を育む」